



砺波市で終活セミナーを開催！

～何から始める？初めての『終活』最期まで自分らしく～

16 平和と公正を
すべての人に



4/19(水)砺波市との協定後、初の連携事業として**終活セミナーを開催**しました。
(セミナー時間2時間 参加者は約80名)
(当社側参加者:川本室長、小柳課長補佐)
(担い手プロ参加者:内嶋社長、中村さん)



足跡をしっかりと残す
子孫のために

講師は一般社団法人日本エンディングサポート協会の
佐々木理事長でした。

『人生100年時代』と言われる現代、少しずついろいろな
整理が必要かもしれません。

今回、参加者全員にエンディングノートをプレゼントしました。
参加者ニーズによっては、次回「エンディングノート書き方教室」を開催する
予定です。



「何から始める？初めての『終活』」

～最期まで自分らしく～



終活のポイント ＜エンディングノートを書くメリット＞

エンディングノートを書くことで改めて人生設計

1. 現在（将来）の不安材料がはっきり見え、「気づき」のきっかけになります
2. 「もしも」のときまわりの人が困らないで済みます。
3. 身のまわりの整理ができます。
4. 生きる目標が見え、元気になれるからです。

終活セミナー風景 & アンケートより



【アンケートより】

- ◆ **終活で行っておくべきことが分かり、勉強**になりました。手続きなど複雑な部分を更に知識をつけていきたいと思えます。**お金がかかることが多いので備えも大切**だと感じました。
- ◆ **急に必要となる知識**のために今のうちに知ることができてよかったです。問い合わせ先があるのは心強いです。
- ◆ 成年後見、死後事務、遺言の3つが有効と分かりました。**「あせらず、あわてず、あきらめず」**を心掛けたいと思えます。
- ◆ 「終活」という言葉は聞いたことがありましたが、**自分がいざ死んだとき、想像以上に面倒**なのだと感じました。
- ◆ **人生の棚卸をするタイミング**があること、日々、**毎日を大切に過ごしていきたい**と感じました。
- ◆ 成年後見人ではなく家族信託があることを初めて知りました。**葬儀の内容についても詳しい内容が分かりとても参考**になりました。
- ◆ **知らない話が多く、とても興味深く聞くことができました。**
- ◆ **自分の人生設計の必要性を感じる**ことができました。また、最後まで自分の人生を生きる目標としたいです。できることから、ひとつひとつですね。
- ◆ **相続に向けてのことを考えることができ、参加して良かった**です。